

附属高等学校の部活動を通じたコンピテンシー育成 —アフガン・ボランティア部の活動を通して—

お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所連携研究員
附属高等学校教諭 アフガン・ボランティア部顧問 沼畑 早苗

1 アフガン・ボランティア部の設立経緯

2001年度末、お茶の水女子大学は、奈良女子大・津田塾大・東京女子大・日本女子大とともに五女子大学コンソーシアムを結成し、アフガニスタンの女子教育支援に携わることとなった。2003年の第1回研修プログラムに先立ち、お茶の水女子大学では、2002年12月、附属高校にもボランティア生徒を募集した。本校では、それまでボランティアに関する組織はなかったが、全校生徒によびかけた結果、10名の応募があった。ここから高校生による「アフガン・ボランティア」が発足した。

その後、2003年度には、高校内の組織として、「高大連携プロジェクト」の1つである「途上国支援」（2004年度には「国際協力」と改称）、2006年より高校の自治会活動における同好会、2009年からは、部活動として活動している。ここ10年以上はアフガニスタンへの支援というよりも、生徒の自発的な企画によるボランティア活動を実施している。

2 部員数

2024年度の部員数は、64名（1年生32名、2年生32名）と高校内で最も人数が多く、他の部活動や同好会と兼部している生徒も多い。

3 2024年度の活動内容

2024年度は、数グループに分かれて、活動を実施した。おもな活動を記したものが下の①～⑤である。いずれも生徒が企画し、教員会議に企画書を提出した上で、必要に応じて保護者の同意書を取り、実行に移した。事後には、校内で簡単な報告をする流れとなっている。

①2024年台湾地震への募金集め

台湾地震への寄付と同時に、2023年度台湾研修に参加した生徒が中心となって、交流協定校である台北市立第一女子高級中学（以下、北一女）へメッセージを送付し、寄り添う気持ちを伝える。

②レモネードの販売と特定非営利活動法人キャンサーネットジャパンへの寄付

小児がん・AYA世代のがん体験支援者のための支援を実施。

③子ども食堂ボランティア

要町子どもあさやけ食堂にて食事提供等のボランティア活動に参加。

④農業ボランティア

「府中市援農ボランティアあっせん事業」を通じて、援農ボランティア活動に参加。

⑤使用済みコンタクトレンズケースの回収（2021年度より継続実施）

目的：公益財団法人日本アイバンク協会への寄付を通じて、角膜疾患による視覚障害者の視力回復に役立てる。

左上から、①生徒が作成した台湾地震への募金企画書、②校内への募金告知、③北一女宛にメッセージを作成している写真である。左下は、④子ども食堂ボランティア参加企画書、小児がん支援のためのレモネードスタンド企画の校内チラシである。

[illegible]

一台湾東部沖地震救済への募金告知

2024年5月13日(木)

2023年台湾沖地震参加団体、アソシエーション・オブ・アジア・パシフィック・エデュケーション・センターに発生した台湾東部沖地震への募金会を開催した。開催概要は下記のとおりです。

記

実行団体／	日本赤十字社の台湾東部沖地震救済への募金実行だけ、 統一教会に賛同の「ジョージア」
日時／	5/12(月)、5/14(水)、5/16(金)、5/17(土)
場所／	1 東京都三軒茶屋地区 2 日本赤十字社救済施設
時間／	07:00～8:00 08:30～12:00 13:00～15:00 （※16:00以降は自由参加を行います。ジョージア記入のみ）

以上

私たちジョージアは、台湾に目を向けるにつれ、台湾で発生した震災と日本人の犠牲者を深刻に憂念しました。そして震災と同時の日本の震災も被害を受けていることを知り、精神的に共感しつづけているのが嬉しいこと。そして台湾と日本両国に親しみ、様々な文化を受け入れる寛容な台湾の人々の気風が私たちにとってこそ大切なことだと感じました。台湾被災地でも募金活動を行い、また日本と両国の間の交流の場、今後も台湾各地で活動していきます。ジョージアを組織する人々もこの思いを共有し、私たちジョージアは、私たちの使命を達成して社会貢献をなるとし、私たちジョージアを自己へと広げること、とお願ひと共進の一助のことがありたいと心から思っています。

本紙では上記の企画を行うにあたり、日本と台湾の両国や、今回の地震の被災地、募金先である赤十字社の関係者をお待ちします。このメモを一通し台湾への関心を高めるだけでなく嬉しいことです。

アップルボランティアチーム 2月18日発表
 2月発表

子ども食堂ボランティア参加企画書

1.目的

社会福祉協議会によると、日本では7歳以上の児童17.7人に1人の非正規就労に就いておられる。しかし「子ども食堂」の存在により、その状況は改善されている。そこで、我々が所属の機関に所属している児童の子どもたちも食堂を通って子ども食堂ボランティアに参加することで、食生活の改善に協力し、食生活の改善、また地域の活性化に貢献することを、本企画書によって子どもたちに伝えたい。

一方で、子どもは親や祖父母などから食生活の指導や地域のボランティア活動を通じて、食の大切さや感謝の気持ちを学び、新たなコミュニティを築くことも地域の活性化にも繋がると考える。

2.企画内容

10月10・11月までの第1期、第2期(第3期 12月)実施
 (食事提供の時間と子どもたちの参加の時間(1時間程度)を別々)

曜日：曜日はともなず夕食
 平日17:00-20:00(参加希望者は要予約)

参加者：アップルボランティアチームと子ども食堂

2月曜日
 2月曜日
 2月曜日

内容：子どもたちとボランティアが子ども食堂等のボランティア活動に参加する。(その日のボランティアの予定がある場合のみ、且内容が重複分岐については協議後に調整を受けず予定)

備考：・料理は全職員メンバーで担当を行う。
 ・調理において保護者の同意が必要である。
 ・調理・消費等も区分し、衛生管理に努める。



レモネード cheers!!

 主催団体
 下ツゲン女ボウテン下町

 開催日
 2023年12月23日(土) 19時(18時)

 要予約(12-19日・23-26日) 定席費(1000-1500)

 開催会場
 国産夏利ゆい館




レモネード

 小児・成人の味を別けておくれ




 200円

 ぜひ買いにきてね♡

 待ってるよ~!! **BIG LOVE!**

荻原万紀子 (2003). 高校生「アフガンボランティア」の結成と活動. お茶の水女子大学附属高等学校研究紀要. 巻 49. p29-49